



技術史教育

ISSN 0917-9089

第127号

2021.7.31

Education for History of Technology

第127号 目次

- 日本技術史教育学会2021年度総会・研究発表講演会開催報告……………山館 順(1)
 2021年度総会報告・受賞者からの一言……………堤一郎・坂本勇・吉田喜一・南正晴(2)
 2020年度決算書・2021年度予算書……………(3)
 お知らせ・理事会議事録・編集後記……………(4)

【総会・研究発表講演会開催報告】

2021年度総会・研究発表講演会開催報告

2021 年度総会・研究発表講演会実行委員会
 実行委員長 山館 順(サレジオ高専)

昨年来の感染症対策にかんがみオンライン遠隔開催となった。参加者人数は少なかったが、文理双方向から多彩な発表内容が参加者にとり意義あるものとなった。(以下発表の副題略)。松江高専の久間英樹、福岡久雄、青木美香先生による「3次元レーザスキャナーを用いた兵庫県多田銀銅山青木間歩周辺の測定」はNHK番組「歴史探偵」に紹介されるなど活躍の久間先生による探査ロボットを駆使しての研究発表であった。牛山泉学会長と足利大学飯野光政、永尾徹先生による「米、独、デンマークにおける大型風車の技術形成」(計2報)は再生可能エネルギーの歩みについての発表で、技術面での課題を交えながらどのようにこの分野が発展したか概観、この方面に対する期待が高まる中でのタイムリーな発表となった。開催校私立サレジオ工業高等専門学校の坂元愛史先生による特別講演「美術系のデザイン教育」は美術系の要素をどのようにデザイン教育において生かすか、そこで必要な「デザイン思考」は何かについて展開され、全国唯一のデザイン学科を持つ開催校の独自性を解説、今後の課題と展望を示した。吉田喜一先生「段ボール発祥の地荒川区南千住」は地域に根差した工業技術史の一環であり、近代以降の地域における技術集積の歩みをわかりやすく紹介された。白井一、倉田純一、石田香澄先生の「ブータンの技術教育の変遷と支援」は工業系の高等教育を修めたのちの就職先という同国の課題にも言及しながら国際協力と国づくりという工業系教育の持つ可能性を日本の学生、生徒に対しても伝えるうえで重要な役割を持つ講演だった。岡崎先昭仁先生の「戦前・戦中の軍用機に見る技術と用兵に関する考察」は当

時の戦闘詳報という生々しい一次資料を用いて海軍芙蓉部隊について報告、実戦の迫力、戦闘員と技術の間の緊張関係、総力戦の無常をも聴衆につたえた。南正晴先生の「高梁川合同堰(湛井堰)と十二箇郷用水敷設の歴史」は近年の水害現場ともなった中国地方の河川における治水の歴史について古代末期から中近世、近代までを俯瞰された雄大な視野を持つご報告となった。秋山肇、高岡萌先生による「福井県立こども歴史文化館所蔵の電気蓄音機に関する考察」は蓄音機と真空管の性能にも言及され、新しい技術社会史、生活史の分野を開拓された。星朗先生の「スターリングエンジンを教材を用いた工学教育の変遷」は長年この分野に取り組まれてきた先生による小出力エンジンの効率とコストをどのように実用性を高めるかという工学の重要な実地教育の歩みについて講演された。丸山晴男、中條祐一先生の「高等学校工業科専門教育と理科との連携および大学との連結性を考慮した工学教育」は機械系の科目について化学系、物理系との共有化を図ることで理解を深めることを期す、工業高校の臨場感に基づいた発表となった。最後に司会山館は「ハンニバル像の変遷」と題し、それまでの軍談調にかわり日清戦争前夜に用兵技術の視点から欧米と対等に近い視点に立つ西洋古代研究が始まることを指摘した。



日本技術史教育学会 2021 年度総会報告

堤 一郎(本学会筆頭理事)

緊急事態宣言発出により、2021 年度総会は資料を会員各位宛に送付し、審議頂くこととなった。資料記載事項について 2021 年 6 月 5 日を期限として、質問・意見・提案を依頼したが特段の回答はなく、理事会提案事項は全てが承認された。承認事項は、次の通りである。(2019～2020 年度理事会) ①2020 年度事業報告、収支決算・監査報告:総会・研究発表講演会、全国大会及び関西支部総会・研究発表講演会開催、他学協会との関連事業、学術刊行物の発行、その他、収支決算・監査報告、② 2020 年度事業計画(案)・収支予算書(案):総会・研究発表講演会、全国大会及び関西支部総会・研究発表講演会開催、他学協会との関連事業、学術刊行物の発行、その他、収支予算書(案)、③ 関西支部 2021 年度総会・研究発表講演会報告:2020 年度活動報告、2021 年度活動計画、関西支部内規則、④ 役員改選:2021～2022 年度新規役員が承認された。本部理事(岡崎昭仁、桑原啓一、武長玄次郎、丹野哲也、堤 一郎、中條祐一、中村純一、長谷川雅康、穂積洋一、南 正晴、山館 順、吉田喜一、以上 12 名)、地方在住理事(佐藤和敏;北海道、小野寺英輝;東北、佐野 浩;北陸・東海、南 正晴;関西、吉田 勉;中国・四国、高峰;九州・沖縄、以上 6 名)、会計監査(田中明美、武藤康彦、以上 2 名)、顧問:林 邦夫、大川時夫、下間頼一、白井靖幸、林 和宏、牛山 泉、以上 6 名)。⑤ 2021 年度以降に向けた取組み:2022 年度から年度会費 7,200 円に値上げ、新規寄附による学会活動基金構築、長期会費滞納者対策の強化、NL 電子化への移行、学会誌への投稿促進、学会誌電子化への移行準備、新規研究会の設置、技術史・

教育系学協会との行事共催を検討、⑥ 2021 年度表彰者報告:功績賞は坂本 勇氏(大阪産業大学名誉教授)、業績賞は該当者なし、優秀講演論文賞は 2020 年度総会中止により全国大会(オンライン方式)での研究発表が対象、吉田喜一氏(東京都立産業技術高等専門学校名誉教授)と南 正晴氏(元三菱重工)が受賞された。

* 新規役員役割分担は以下の通りです。

- ・会長・理事:吉田喜一
- ・筆頭理事:堤 一郎
- ・総務担当理事:堤 一郎・山館 順
- ・広報担当理事:穂積洋一・丹野哲也・
- ・企画担当理事:武長玄次郎・岡崎昭仁
- ・編集担当理事:桑原啓一・中條祐一・岡崎昭仁
- ・研究担当理事:長谷川雅康・吉田喜一
- ・関西支部担当理事(現関西支部長):南 正晴
- ・事務局担当理事:中村純一
- ・北海道担当理事:佐藤和敏
- ・東北担当理事:小野寺英輝
- ・北陸・東海担当理事:佐野 浩
- ・関西担当理事:南 正晴
- ・中国・四国担当理事:吉田 勉
- ・九州・沖縄担当理事:高 峰
- ・会計監査:田中明美・武藤康彦
- ・顧問:林 邦夫・大川時夫・下間頼一・白井靖幸・林 和宏・牛山 泉

受賞者からの一言

受賞にあたり

坂本 勇(大阪産業大学名誉教授)

このたびの功績賞につきまして、関係各位の心配りに感謝します。私は「設計の哲学」を生涯のテーマとしており、その端緒に触れるために、現在までに解釈、美学、言語、哲学、図学、ヒューマン等の学・協会に関わってきました。日本の理科教育は、形而下学は質も量も十分ながら形而上学は無いに等しい状況にあって「哲学と歴史と古典について配慮を欠いた自然科学がいかにか危ないものか」を、様々な分野で見せつけられている。本会は技術も人文も社会科学も感性も仕事の匂いも教えてくれる。まだまだ当会で頑張ります。

講演論文表彰のご挨拶

吉田喜一(元産技高専)

つたない論文ですが、表彰していただけるとのこと、ありがたく頂戴いたしました。荒川区は、江戸時代以前からの近郊農村でした。三河島菜、谷中生姜、汐入大根・荒木田大根の産地でした。

明治になり殖産興業政策のもと、大・中・小の工場が集積しました。私の在職した高専はその荒川区南千住にあります。

鉛筆、自転車、造船、リヤカー、煉瓦、リサイクル業とともに、胡粉の産地でもありました。これらを一つずつ調査・研究し、学会の講演論文として発表してきました。

今後とも荒川区を含めて、東京下町の産業史、技術史を研究していきたいと思っています。ありがとうございました。

受賞にあたって

南 正晴(元 三菱重工)

2020 年度全国大会(島根・松江)における講演論文賞授与頂きありがとうございました。

今回は、新型コロナウイルス感染拡大のため、本学会では初めてのオンライン形式の講演会が開催されましたが、お世話された鳥谷実行委員長ほかの松江高専の諸先生方や、各講演の採点等運営のサポートをされた先生方には大変お世話になりました。

対面での講演会で感じられる臨場感には及びませんでしたが、緊張感のある雰囲気の中、これまでシリーズで発表してきています農業用水の開発の歴史の中で「辰巳用水の歴史」について講演させて頂き、有益で活発な議論を賜りました。本発表に対して学会として評価頂いたことにあらためて感謝申し上げます。

【2-2】

2020年度決算報告

収支決算書

収入の部		2020年度予算額	2020年度決算額	差異	摘要(会計簿項目等)
前期繰越金		219,361	219,361	0	
会費収入		594,000	549,000	△45,000	6000円×98人、3000円(学生会員)×5人、実質人数
論文掲載料		200,000	106,000	△94,000	6000円×98人、3000円(学生会員)×2人、予算人数
雑収入		200,000	108,000	△92,000	別刷料・広告料・賛助会費・雑誌等売上金・寄付・雑収入・大会参加金・利息
収入合計		1,213,361	982,361	△231,000	△は予算に対する決算の超過分

支出の部		2020年度予算額	2020年度決算額	差異	摘要(会計簿項目等)
会報出版事業費		100,000	131,472	△31,472	ニューズレター印刷費(No.122,123,124,125号)
印刷製本費		50,000	83,729	△33,729	ニューズレター送料(4回)
論文出版事業費		500,000	240,423	259,577	学会誌(1回)、講演論文集(2回)、別刷代
印刷製本費		40,000	42,325	△2,325	学会誌送料(1回)、講演論文集送料等(2回)
その他の事業費		10,000	6,535	3,465	表彰状の贈賞・業績賞・講演論文賞等作成費
表彰費		80,000	30,000	50,000	維持管理費
ホームページ費		10,000	5,000	5,000	関西支部
支部助成費		10,000	0	10,000	行事開催支援費
管理費		5,000	0	5,000	会議費
旅費交通費		10,000	10,000	0	会費手形・使用費
通信費		30,000	30,827	△827	全国大会講演交通費
消耗品等費		10,000	0	10,000	発送費・切手代・電話料
印刷費		10,000	0	10,000	事務用品購入費
雑支出		25,000	65,651	△40,651	行事案内文書・封筒印刷費
事務委託費		240,000	240,000	0	振替手数料・賛助会費・教育関連学会費
予備費		78,361	0	78,361	020,000円×12ヶ月
当期支出合計		1,213,361	875,962	337,399	△は予算に対する決算の超過分

特別会計		収入	支出	備考
前期繰越金		120,047	0	
印税		0	120,000	
利息		3	0	
合計		120,050	120,000	

会計監査 2020収支決算書

2020年度の収支決算について監査したところ、決算に誤りはなく、事務が適切に処理されているものと認めます。

2021年5月4日

会計監査

印

武藤 康彦

印

会計監査 2020収支決算書

2020年度の収支決算について監査したところ、決算に誤りはなく、事務が適切に処理されているものと認めます。

2021年1月4日

会計監査

印

田中 明美

印

※緊急事態宣言下の対面方式による会計監査が不可能ゆえ個別に実施いただき、署名捺印を頂いたことを付記しますので、ご了解願います。

【3-2】

2021年度収支予算書

収支予算書(案)

収入の部		2021年度予算額	2020年度予算額	差異	摘要(会計簿項目等)
前期繰越金		229,022	219,361	0	
会費収入		594,000	594,000	△50,000	6000円×98人、3000円(学生会員)×2人
論文掲載料		150,000	200,000	△50,000	別刷料・広告料・賛助会費・雑誌等売上金・寄附・雑収入
雑収入		100,000	200,000	△100,000	別刷料・広告料・賛助会費・雑誌等売上金・寄附・雑収入
収入合計		1,083,361	1,213,361	△130,000	△は前年度に対する減額分

支出の部		2021年度予算額	2020年度予算額	差異	摘要(会計簿項目等)
会報出版事業費		100,000	100,000	30,000	ニューズレター印刷費(No.126,127,128,129号)
印刷製本費		80,000	50,000	0	ニューズレター送料(4回)
論文出版事業費		400,000	500,000	△100,000	学会誌(1回)、講演論文集(2回)、別刷代
印刷製本費		5,000	5,000	0	編集費
送料		40,000	40,000	0	学会誌等送料
その他の事業費		10,000	10,000	0	表彰状(功績賞・業績賞・講演論文賞等)作成費
表彰費		30,000	80,000	△50,000	維持管理費(前年度未払分を含む)
ホームページ費		5,000	10,000	△5,000	関西支部
支部助成費		10,000	10,000	0	行事開催支援費
管理費		5,000	5,000	0	会議費
旅費交通費		10,000	10,000	0	特別講演講師交通費
通信費		30,000	30,000	0	発送費・切手代・電話料
消耗品等費		10,000	10,000	0	事務用品購入費
印刷費		10,000	10,000	0	行事案内文書・封筒印刷費
雑支出		20,000	25,000	△5,000	振替手数料・賛助会費・教育関連学会費
事務委託費		240,000	240,000	0	020,000円×12ヶ月
予備費		78,361	78,361	0	
当期支出合計		1,083,361	1,213,361	△130,000	△は前年度に対する減額分

特別会計(円)

前期繰越金	120,047
利息	3
支出合計	120,050

日本技術史教育学会2021年度全国大会(島根・松江) 開催案内と研究発表講演募集

2021 年度全国大会(島根・松江) 開催実行委員会 委員長 鳥谷智文(松江高専)

本学会2021年度全国大会を、2021年11月6日(土)に島根県松江市の松江高専で開催いたします。つきましては会員各位による研究発表を募集いたします。

◆会場:松江高専(島根県松江市西生馬町14-4、TEL 0852-36-5488)

◆募集要領:研究発表希望の会員は、下記メールアドレスに以下の項目を記入し送付する、または必要事項を記入の上、学会事務局へ封書でお送りください。

申込先:「happyyou. jseht@gmail.com」

1)講演題目:主題、副題

2)講演者名:登壇者に○印(会員に限る)、所属名(およびその略称)

3)申込者連絡先:〒・住所・TEL/FAX・E-mail

4)キーワード:5つ程度

5)実施方法:コロナ禍の動向が不明ですので、オンラインでの開催とし、見学会・交流会は実施致しません。なお、「受付後の講演題目と発表者名の変更は認められません」。講演原稿執筆時に十分ご注意ください。

◆研究発表申込締切:2021年9月6日(月)17時必着

◆研究発表講演原稿提出期限:2021年10月6日(水)17時必着(ともに期限厳守)

◆研究発表講演原稿は、PDFでの提出をお願いいたします。

◆講演資格:講演発表は「2021年度会費納入済」の会員であることが前提です。

◆申し込みの方におかれましては、同一講演者の場合は一件のみの申し込みでお願い致します。

◆学会事務局:〒113-0023 東京都文京区向丘2-34-5 ホリトマンション201(株)プラス・ワン気付、日本技術史教育学会事務局2021年度全国大会実行委員会宛。TEL/FAX: 03-3824-2611(電話対応は毎週火曜日のみ、FAX常時受付)。

◆開催校連絡先:松江高専電子制御工学科教授 久間英樹 TEL/FAX 0852-36-5488 E-mail: kuma@matsue-ct.jp, atgatg2009@gmail.com

◆全国大会プログラム、見学会等の詳細はニュースレター第128号と本学会ウェブサイトに掲載いたします。

◆その他、全国大会参加費3,000円

【 理事会議事録 】

◆第165回(通算208回)理事会

月日:2021年5月20日(木)、電子メール方式、出席者:会長・理事・会計監査全員、議題 0) 前回(第164回)議事録承認、1)各部門報告(総務(会員動向・会費納入状況・HP更新等)、編集(学会誌・NL編集関連)、企画(2021年度総会・研究発表講演会開催準備)、2)関西支部報告、3)2021年度総会開催準備:会員宛に総会審議用資料を事前送付、審議頂く、4)その他、5)次回理事会:2021年6月以降開催予定。

【 会費納入のお願い 】

2021 年度会費(正会員 6,000 円、学生会員 3,000 円)未納の方は早急に納入をお願いします。また過年度会費未納の方についても、本年度会費に未納年度会費をあわせて至急納入してください。なお会費納入用の郵便振込用紙は、本年 1 月 31 日発行のニュースレター第 125 号とともに、会員各位のお手元に送付済みです。会費振込先は下記です。

・郵便振替の場合:口座記号番号 00330-0-17317、加入者名 技術史教育学会

・銀行振込の場合:三井住友銀行神田支店(店番号 219)、普通預金口座 No.6669374、口座名義 技術史教育学会

【ニュースレター電子版化へのお知らせ】

今年度総会でご承認頂きました、【6-1】2021 年度以降に向けた取組みの 3) ニュースレター「技術史教育」

電子版への移行、について、今後は次の段階的措置により 2022 年度から実施することと致しますので、お知らせします。第 127 号(2021.7.31):実施の段階説明、② 第 128 号(2021.9.30):具体的な実施手続きを説明、電子化に向けた会員各位の登録を依頼、③ 第 129 号(2022.1.31):電子化への最終案内と登録実施依頼。なお従来の紙媒体送付希望者については、送付申請と送付に要する必要経費を別途徴収致します。

【 書籍の寄贈 】

2004年に(一社)雇用問題研究会から発行の『日本の技術者—江戸・明治時代—』(中山秀太郎著・技術史教育学会編)、在庫残部を同研究会から本学会に寄贈頂きました。理事会で検討し希望される会員に1冊送料込み1,000円(全206頁、発行時の定価1500円)で頒布致します。希望者は「堤 一郎; ktlr762tsutsumi@gmail.com」宛にご連絡ください。

【 編集後記 】

一向に新型コロナウイルスの猛威が収まらない中、オンラインで総会・研究発表講演会を開催し、新体制がスタートとなりました。今年度の全国大会に関してもオンライン開催をいたします。また、ニュースレターの電子化など新たな取り組みもスタートさせてまいりますので、会員の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

(穂積洋一)

日本技術史教育学会ニュースレター 第127号

技 術 史 教 育

Education for History of Technology

発行者 日本技術史教育学会 会長 吉 田 喜 一

編 集 日 本 技 術 史 教 育 学 会

(株) プラス・ワン気付 日本技術史教育学会 事務局

〒113-0023 東京都文京区向丘2-34-5 柏木マンション 201

TEL/FAX:03-3824-2611

E-Mail: jseht@nifty.com

2021年7月25日 印刷
2021年7月31日 発行

